

## 自律学習実践研究会（第4回）お知らせ

- 時間：2018年12月15日 午後1時～4時
- 場所：象仔書屋 zo Books and Coffee  
407 台中市西屯區黎明路二段 972 巷 40 號  
(朝馬のバス停から近いです)
- 参加を希望される方は <https://goo.gl/forms/jvSogF4jnlAFTARw2>  
からお申し込みください。



### 1. 林恒立「自律学習の観点から見た学生による研究テーマの選択と変更」

＜從自律學習的觀點來看學生們對研究題目所做的選擇與改變＞

林恒立さんから一言

発表者は昨年(2017年4月～7月、春学期)、北海道の某大学で渡日して間もない外国人研究留学生(以下、研究生)のために開設された「研究生プログラム」を担当しました。

日本語能力も研究分野も異なっている研究生たちが、一つのクラスに集まって、週に一回、論文・小論文の書き方(アカデミック・ジャパニーズ)をはじめ、人文・社会科学系分野の研究方法について学びます。各研究生には、指導教員がつきます。指導の方法や面談の頻度は各指導教員の裁量に任されています。発表者はそれに立ち入らず、あくまで大学院のスタッフの一人として、日本語文章の書き方を教え、研究方法の種類を紹介しました。ところが、単位なしのため、学期途中来なくなった研究生もいれば、授業後、研究計画書の内容について個人的に相談に来る研究生も多くいました。後者の場合、どう考えても修士課程の2、3年間では終わらない壮大なテーマを選択するケースもあれば、テーマを何度も変更し、指導教員まで変更するケースもありました。

授業でどんな実践をしてあげれば彼らの自律性を導くことができたのか、また、振り返ればどんな実践が「悪魔のサービス」(青木 2009)に当たるのか、反省点も含めて、考えていきたいと思います。学部四年生の「專題研究」の指導の際の参考になれば幸いです。

発表人於去年(2017年4月至7月、第一學期)在北海道的某大學擔任「先修生課程」，此課程是為了剛到日本不久後的外國留學生所開設。先修生們的日文程度與研究領域雖因人而異，但同聚一堂，學習論文／小論文的寫作方法(學術日文)、人文社會科學領域常見的幾種研究方法。每位先修生都有一位指導教授，指導的方式或是約談的次數，由每位指導教授自行決定。發表人對此不多過問，而是以研究所成員的身份來指導日文文章的寫法以及介紹研究方法。

然而，由於無關學分，部分先修生學期上了一半就不再出現。不過，也有很多的先修生會在課後來跟發表人商量研究計畫書的內容。有的人選擇的課題太過龐大，是碩士課程兩、三年之內不可能完成的，而有的人則不斷更換研究題目，到最後連指導教授都更換了。發表人應該在課堂裡用甚麼方法，才能引導先修生們的自律性？另外，哪些方法如今看來就像「惡魔的服務」(青木 2009)？透過本次的發表內容，包含問題點的反省，望能作為指導大四生「專題研究」時的一個參考。

### 2. 音声教材を作る

第3回の研究会で、新しい実践に挑戦する中で、録音教材がほしいという声があがりました。既成の音声教材は多いですが、台湾の学生に合うような教材や自教材は少ないです。研究会にきている教師や学生たちで録音して共有しようということになりました。興味のある方はぜひご参加ください。

問い合わせは東海大学日本語文化学系 工藤研究室 04-2359-0121 (内 31707)